

グループ連携生かし開発加速



クラブウのポリエステル透湿防水フィルム「プレスレイヤー」を活用した製品提案も

クラブウインターナショナルは、OEM・ODM事業についてグループの素材開発力の活用やサステイナブル（持続可能）への対応、トレーサビリティ（履歴管理）体制の構築などで消費者の求めるファッションの実現に力を入れている。

売れ筋見極め型の短納期、小ロット生産への要求が強まる一方で商品の同質化が進んでおり、マスカスタマイゼーションによるパーソナルニーズの高まりなど、本来に欲しいものを追いつく求める消費者も出てきていると現状を分析。

「消費者のファッションに対する興味は不変であり、一概に安くというようにはならない」（西澤厚彦社長）と見る。

そうした中で、消費者の求めるファッション素材を打ち出していくために、メーカー

系商社ならではの素材からの商品開発機能を生かしている。タイのタイクラブウやサイアムクラブウ、ITDFといった海外グループ会社や大正紡績といった国内グループ会社との連携を強化するほか、カジュアルテイストのユニフォーム素材、機能力シユアル素材といった分野を越えた商品開発にも注力。グループの信頼できる生産背景を持つことで、製造者の顔が見える商品開発といったトレーサビリティも実現する。パーソナルニーズや短納期小ロットなどに対応するために国内縫製拠点の竹田や村上、インドネシアのAKMといった自家工場をスマートファクトリー化することも視野にいれており、地産地消の実現にむけた縫製自動化の研究もスタートさせる方針だ。